

昨年12月に、北海道新幹線に関する仕事で函館に行きました。現場では3月26日の開業に向けた最終段階の準備が着々と進められており、真新しい車両基地と開業前の北海道新幹線の車両をいち早く見てきました。この新幹線の車両が津軽海峡を渡ることを想像すると感慨深いものがあります。皆さんが本号を手にする頃には、東京駅と新函館北斗駅が1本のレールでつながり、これまでよりもさらに、本州から北海道への旅が快適になることでしょう。

今月号の特集では、列車の車内の快適性を取り上げました。

車両の快適性の例として振動や騒音の低減に関する話題のほか、車内のおいや電波の伝送品質向上に関する記事も紹介しました。今後のさらなる技術の進展による快適な鉄道の旅が期待されます。

来月号の特集は海外の鉄道と研究開発です。現代の社会は、グローバル化の時代を迎えています。そこで、日本国内の鉄道から一歩離れ、視野を広げて海外の鉄道に目を向けてみようと思います。どうぞご期待下さい。(K.G.)